



ミイラマスク

Mummy mask

カルトナー・ジュ・彩色
プトレマイオス朝
紀元前305～30年

Cartonnage, painted
Ptolemaic Period
305-30 BCE

ミイラの上に置かれたマスクです。この時代になると、亜麻布と漆喰を交互に重ね合わせたカルトナー・ジュという技法でこのようなマスクが作られ、死者の身体を保護するために用いられました。マスクの頭部には、邪悪なものを退けるためにウジャトの眼が描かれています。

In the Ptolemaic Period a mask and other coverings, usually made with several layers of linen and coated with plaster (called cartonnage), were extensively used to protect the body of the deceased. The diadem of the mummy has a *Wedjat*-eye to protect the body from evil.

Art Watching

アートウォッチング

古代エジプトへの扉 収集家の見た悠久と神秘

菊川コレクション世界初公開

The Gateway to Ancient Egypt
through the Kikugawa Egyptian
Collection in Japan

ウラエウス厨子装飾

Uraei frieze

木、ファイアンス、ガラス
新王国
第18王朝
紀元前1550～1290年頃

Wood, faience, glass
New Kingdom
18th Dynasty
c.1550 - c.1290 BCE

ウラエウスとは、王権を象徴する聖蛇です。コブラの姿で表され、ツタンカーメン王墓で発見された木製金貼厨子に、同じようなウラエウスの装飾が見られます。本作品も新王国時代第18王朝末期の王墓に納められた同様な厨子を装飾していたと思われます。

Uraeus was the sacred cobra. Such frieze decoration of uraei can be seen on a wooden gilded Canopic box from the tomb of Tutankhamun. These pieces would have decorated a similar type of wooden box, buried in a royal tomb of the Eighteenth Dynasty.



2005年4月29日から横浜ユーラシア文化館で公開する菊川匡^{きくがわ たくみ}さんのコレクションは、質・量ともに日本で第一級の古代エジプトコレクションです。菊川さんがその収集を始めたのは5年前からですが、美術館や遺跡に対する興味は少年の頃から持ち続けてきました。国内外の専門家との交流、そして収集家としての探究心に支えられ、菊川さんは5年という短期間のうちに日本最大級の個人コレクションを築いたのです。時代は先王朝時代からグレコ・ローマン時代までを網羅し、300点を超える美しい品々は石彫・木彫・陶製品・ガラス製品・パピルス・装身具やお守りなど豊富な内容です。今回の展示は、菊川コレクションが映し出す古代エジプトの華やかな宮廷文化・人々の日常生活・来世観を、最新の研究結果を踏まえて紹介するものです。

This special exhibition introduces the ancient Egyptian collection of Mr. Tadashi Kikugawa, a businessman from Tokyo. He started collecting ancient Egyptian material five years ago, a natural development of his childhood love of museums and his keen interest in archaeology. Enthusiastic encounters with Egyptologists have further enriched his holdings to create this highly comprehensive and scholarly collection.

The Kikugawa Collection covers the period from Predynastic to Greco-Roman, the time-span including the Old Kingdom represented by pyramids and the New Kingdom of dazzling royal culture of pharaohs like Tutankhamun.

More than 300 carefully selected items—stone and wood carvings, pottery, glass, papyrus, amulets and jewelry—illustrate the ancient Egyptian culture, daily life of the people and their view of the afterlife.

企画展「古代エジプトへの扉 収集家の見た悠久と神秘 菊川コレクション世界初公開」
Special Exhibition "The Gateway to Ancient Egypt through the Kikugawa Egyptian Collection in Japan"

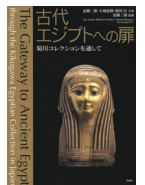
2005年4月29日(金・祝)～8月14日(日) 4月29日は午前11時から公開

Friday, Apr. 29 (11:00 a.m.) to Sunday, Aug. 14, 2005

近藤二郎・大城道則・菊川匡共著、近藤二郎監修

『古代エジプトへの扉 菊川コレクションを通して』文芸社 2004年
Jiro Kondo, Michinori Ohshiro, and Tadashi Kikugawa,
The Gateway to Ancient Egypt through the Kikugawa Egyptian Collection in Japan, ed. Jiro Kondo. Bungeisha 2004.

4月29日から当館ミュージアムショップでも販売します。



*前ページの作品解説は、近藤二郎・大城道則・菊川匡共著、近藤二郎監修『古代エジプトへの扉 菊川コレクションを通して』を参考にしました。

The above captions have been adapted from Jiro Kondo, Michinori Ohshiro, Tadashi Kikugawa, *The Gateway to Ancient Egypt through the Kikugawa Egyptian Collection in Japan*, ed. Jiro Kondo.

Gallery Talk ギャラリートーク

鳥の造形

Birds

空を飛ぶ。

それは長い間人類の夢でした。飛行機が当然のように空を飛び交う今日でも、翼を背に一人空を行くことにあこがれる人は少なくないでしょう。

古来人々が作り出してきた文物には、様々な鳥の表現が見られます。旧石器時代の岩画や骨角製品から現代の造形に至るまで、常に鳥は描かれ続けてきました。空飛ぶ翼を持って生まれた生き物に、地を歩く人間はどのようなまなざしを注いできたのでしょうか。

横浜ユーラシア文化館にも、様々な時代、様々な地域の鳥たちがいます。写実的なものもあれば、様式化、簡略化されたものもあります。器物全体に表わされているものもあれば、片隅に小さく描かれているものもあります。

そんな鳥たちを探して展示室を歩くのもまた一興です。ケースに納められたものたちの、新たな魅力に出会えるかも知れません。

Flying over the sky.

It was human race's dream for a long time. Even now, though it is possible to fly over the sky by airplane, many people dream of flying by themselves.

From Paleolithic to the present time, bird motifs have decorated artifacts. This fact makes us wonder what people thought of the birds that can fly over the sky.

There are bird designs in various regions in various ages in the Yokohama Museum of EurAsian Cultures. Some birds are designed in realism, and other birds stylized and simplified. Some birds are main motifs of decoration and other birds are shown small on the artifacts.

Explore the gallery and look for such birds. You will discover new charm of our collection.

春の特別企画 Special Event 「ミュージアムでバードウォッチング」 2005年1月8日(土)～4月24日(日) "Bird Watching in the Museum" Saturday, Jan. 8 to Sunday, Apr. 24, 2005

今年の干支は酉！ 横浜ユーラシア文化館にはさまざまな文化を代表する鳥がたくさん隠れています。バードウォッチングするつもりで探してみませんか。

鳥のシールと展示室見取図(はがき)をお渡しします。これらを使って、鳥を見つけたら「見取り図はがき」にシールを貼っていきます。シールを貼り終われば、「鳥づくしオリジナル絵はがき」の出来上がりです！

Look for bird motifs in the Yokohama Museum of EurAsian Cultures. Make your original postcards with bird-design seals (complimentary).

*横浜ユーラシア文化館に入館された方はどなたでもご参加いただけます。



鳥獣文浅鉢

Bowl with Design of Birds and Animal

イラン西北部
パルティア時代
紀元前3～後3世紀
高7.4 cm, 径19.0-19.5 cm



Northwestern Iran
Parthian period,
3rd century BCE - 3rd century CE
H. 7.4 cm, D. 19.0-19.5 cm

底部中央に山羊が、その周辺に5羽の鳥が、赤色の顔料で描かれています。

Five birds are drawn around a goat in red paint.



4ドラクマ銀貨

Silver Tetradrachm

ギリシア、アテネ
紀元前5世紀
径35.0 mm, 16.8 g

Athens, Greece
5th century BCE
D. 35.0 mm, Weight 16.8 g



ギリシアで聖なる鳥とされるフクロウは、しばしば知恵の女神アテナとともに描かれます。アテナ神はアテネ市の守り神であり、このコインの裏面にはその横顔が表わされています。

The owl, a holy bird in Greece, often appears with goddess Athena of wisdom. Athena is patron goddess of Athens and her profile is depicted on the other side of this coin.

鳥文双注口付壺形土器

Spouted Jar with Bird Design

北シリア
中期青銅器時代
紀元前第2千年紀
高24.7 cm, 長21.2 cm, 胴径16.2 cm

Northern Syria
Middle Bronze Age, 2nd millennium BCE
H. 24.7 cm, L. 21.2 cm, D. 16.2 cm



二本並んだ注口の下に鳥の頭部が立体的に表わされ、壺の胴部に翼を広げた鳥の胴体が線刻されています。

A bird's head is modeled at the bottom of the spout, and its wings are shown with incised lines on the body of the vessel.

刻線文皿

Vessel with Incised Decoration

イラン
12世紀以降
径15.3 cm, 高2.4 cm
Iran
Islamic period
D. 15.3 cm, H. 2.4 cm



中央部の4つに区画された四角と、その外側にある4つの円の中に、それぞれ1羽ずつ鳥の姿が刻み込まれています。

Bird designs are incised in the enclosures of square and circle in the center.



文明と文化の発信地 エジプト

廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

エジプトの魅力の一つは文明の多様性にある。エジプトは歴史を通じてしばしば文明と学問と思想の発信地であった。紀元前4000年頃メソポタミアとエジプトで始まった灌漑・集約農業は古代メソポタミア・エジプト両文明を生み出した。ヘロドトスの呼んだとおりまさにエジプトはナイルの賜物だったのである。そして「ムギと乳」の食文化を基盤とする都市文明はこの両地域から西・南・中央アジアと地中海地域に広まって行った。

「古代エジプトへの扉 収集家の見た悠久と神秘 菊川コレクション世界初公開」が楽しみである。

ギリシャ系プトレマイオス朝の首都アレクサンドリアに紀元前3世紀に建てられた図書館は50万冊の図書を有したと言われ、アレキメデスの円周率、ユークリッドの幾何学、アリストタルコスの地動説はここで生まれた。

ローマ帝国時代にキリスト教がもたらされるが、エジプトではキリスト単性論(モノフィジート)の立場に立つ「コプト教会」が主流であった。彼らはビザンティン帝国時代は異端として圧迫されていたので、7世紀のアラブの征服によってむしろ解放され、エジプト住民のイスラム化、アラブ化が徐々に進む中で人頭税ジズヤを納めることによって信教の自由を保障されて現代まで生き延びたのである。

10世紀にファティマ朝の築いた都カイロのアズハル・モスク付属マドラサ(学院)は現

存する世界最古の最高学府と言われ、当時北インドからイベリア半島にまで広がるイスラム世界からの留学生が学んでいた。マムルーク朝(13—16世紀)は砂糖きびの栽培とインド洋と地中海を結ぶ交易で栄えたが、そのころイエメンのモカから伝わったコーヒーはアズハル学院の教師や学生の飲み物として普及した。砂糖きびとコーヒーはやがて欧州にももたらされて、人士が集う社交場「カフェ」を流行させることになった。カフェでの談義が西洋民主主義への道を開いたとも言えよう。

皮肉にもエジプトと中東はナポレオンの征服以降、その西欧への従属下に置かれることになったが、エジプトはこれに対抗するイスラム改革思想や社会運動とアラブ・ナショナリズムの中心となった。1956年汎アラブ・ナショナリズムの旗手ナセル大統領は西欧帝国主義の象徴スエズ運河の国有化を断行、怒った英、仏、イスラエルは武力行使に踏み切ったが(第2次中東戦争)、米国、ソ連を含む国際世論の前に撤退せざるを得ず、「ナセル外交の勝利」と言われた。次のサダト大統領は一国ナショナリズムに転じ、1979年単独でイスラエルと和平条約を結ぶことによってエジプトはアラブ連盟の加盟資格を停止されたが、その後連盟に復帰した。非産油国エジプトが今もアラブ諸国のリーダーとしての役割を果たしているのは、人口数の多さのみならず、「知」の力によるものではないだろうか。



アレクサンドリア Alexandria



アズハル・モスク Al-Azhar Mosque



カイロ Cairo

写真撮影 竹田多麻子

Photographs by Tamako Takeda

For more than 5,000 years Egypt has been a birthplace and center of important civilizations, including sciences and thoughts. “Egypt is the gift of the River Nile”, said Herodotus, the great Greek historian. It has been Egypt’s lifeline for millennia. You can enjoy and appreciate various artifacts of the ancient Egyptian civilization in the coming exhibition at the Yokohama Museum of EurAsian Cultures.

The academies and the great library established by the kings of the Ptolemies in Alexandria were a center of intellectual research in the Hellenized world. In the meantime the monophysitic Christian Coptic Church survived under the rules of Roman, Byzantine, Arab and Ottoman dynasties. The Madrasa Academy of al-Azhar established by the Fatimid dynasty in Cairo in the 10th century became a hub of Islamic scholarship.

In face of the European powers’ colonization or semi-colonization, Egypt has been the crossroads to such movements as corresponding nationalism and the Islamic reformist thought grown in the Middle East since the end of 19th century. President Gamal Abdel Nasser nationalized the Suez Canal in 1956. It symbolized the end of British and French imperial colonialism.

廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

元駐アゼルバイジャン大使。本年3月よりアジア・太平洋国会議員連合中央事務局事務総長。Retired ambassador. Secretary-General, the Central Secretariat of the Asian-Pacific Parliamentarians’ Union.

1963年外務省入省以来、2002年退官までアメリカ、カナダ、ユーラシアの各国で勤務。特に西アジア(トルコ11年、イスラエル2年)、CIS(ロシア4年、アゼルバイジャン2年)の勤務が長く、中東の情勢にも詳しい。

Special Exhibitions and Events

展覧会・イベントのご案内

春の特別企画 Special Event 2F

ミュージアムでバードウォッチング
Bird Watching in the Museum

2005年1月8日(土)～4月24日(日)
Saturday, Jan. 8 to Sunday, Apr. 24, 2005

*横浜ユーラシア文化館に入館された方はどなたでもご参加いただけます。

企画展 Special Exhibition 2F・3F

古代エジプトへの扉
収集家の見た悠久と神秘

菊川コレクション世界初公開
The Gateway to Ancient Egypt through
the Kikugawa Egyptian Collection in Japan

2005年4月29日(金・祝)～8月14日(日)
4月29日は午前11時から公開
Friday, Apr. 29 (11:00 a.m.) to Sunday, Aug. 14, 2005

入館料 500円(小・中学生250円)
Admission Adults 500 yen
Children 250 yen

入館された方は、企画展(2階、3階)および横浜都市発展記念館(4階)をご覧ください。なお、本企画展開催中は、常設展示はご覧いただけませんのでご了承下さい。

企画展 Special Exhibition 3F

世界遺産 バーミヤン大仏：カメラが捕らえた爆破直前の勇姿(仮称)
Devastated Buddha : The Great Buddha of
Bamiyan before the Destruction

2006年2月18日(土)～4月16日(日)(予定)
Saturday, Feb. 18 to Sunday, Apr. 16, 2006

New

バンダナ
Cotton Scarf
¥840
55×55 cm



およそ2千年前の中国、漢王朝のデザインから、「馬車」と「気のエネルギー」をモチーフにしました。
Adapted from the designs of "chariot" and "cosmic energy" of the Han-dynasty art.

New

横浜ユーラシア文化館編
『ユーラシアを駆ける』
2005年4月下旬発売予定
A book about Eurasian nomads published in late April 2005 (in Japanese).
A5判 166p ¥1050 (予定)



横浜ユーラシア文化館2003年度連続講演会「遊牧民とモンゴル帝国」が、更に新しい知見を加えて本になります。最先端を行く5人の専門家が、遊牧世界の過去と現在を語ります。

詳しくはホームページをご覧ください。Visit our website and browse around.
www.eurasia.city.yokohama.jp/

利用案内 Visitor Information

横浜ユーラシア文化館

Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通12
12 Nihon Odori, Nakaku, Yokohama, Japan 231-0021
Tel. 045-663-2424 Fax. 045-663-2453
<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

開館時間 9:30 a.m.～5:00 p.m.
(入館は4:30 p.m.まで)
休館日 毎週月曜日・年末年始他
入館料 一般200円
小・中学生100円
企画展開催時には別料金になることがあります。
毎週土曜日は小・中学生、高校生無料。
「障害者手帳」、横浜市の「長寿のしおり」等をお持ちの方には、入館料の減免制度がありますのでお尋ね下さい。

Hours 9:30 a.m.～5:00 p.m.
(Admission until 4:30 p.m.)
Closed Mondays and year-end/
New Year's recess

Admission ¥200 for adults
¥100 for primary and junior high school students



Map in English → Website

交通アクセス
みなとみらい線日本大通り駅3番出口から徒歩0分
JR関内駅南口・市営地下鉄関内駅1番出口から徒歩約10分
Zero min. walk from Nihon Odori Sta. on the Minato Mirai Line.
10 min. walk from Kannai Sta. on the JR Line or Municipal Subway.

2005年臨時休館のお知らせ

4/26(火)～4/28(木)、8/16(火)、8/17(水)は、
展示替えのため休館します。
Closed: Tuesday, Apr. 26 to Thursday, Apr. 28, Tuesday,
Aug. 16 and Wednesday, Aug. 17, 2005 for change of exhibits.

News from EurAsia No.3
横浜ユーラシア文化館ニュース第3号
企画・編集・発行 横浜ユーラシア文化館 2005年3月15日
デザイン／(株)オフィスエルク
印刷製本／ツルミ印刷(株)
禁断転載
©2005 Yokohama Museum of EurAsian Cultures

News from EurAsia

横浜ユーラシア文化館ニュース

■ 目次 Contents

アートウォッチング p.2

Art Watching

古代エジプトへの扉 収集家の見た悠久と神秘

菊川コレクション世界初公開

The Gateway to Ancient Egypt through
the Kikugawa Egyptian Collection in Japan

ギャラリートーク p.4

Gallery Talk

鳥の造形

Birds

文明と文化の発信地 エジプト p.6

Egypt, Birthplace and Center of
Civilizations

廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

展覧会・イベントのご案内 p.7

Special Exhibitions and Events

ミュージアムショップ p.8

Museum Shop

利用案内 p.8

Visitor Information

横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

no. 3